

わが街みどりい

令和2年1月1日
第43号

発行
緑井学区社会福祉協議会
広報コミュニティ推進部
(090-6841-0161)

新年のご挨拶



緑井学区社会福祉協議会 会長 濱本康男

緑井学区の皆さま、新年明けましておめでとございます。昨年も緑井学区の皆さまには社協の活動に何かとご支援ご協力をたまり、深く感謝申し上げます。

近年は、毎年のように日本列島各地で「百年に一度」「五十年に一度」といわれるような自然災害が起っており、昨年も、重なる台風や大雨で千葉県や長野県をはじめとして関東・東北地方に大きな被害が発生しました。広島では、たまたま大きな自然災害は発生しませんでした。世界的に深刻な気候変動が進んでいる中、身近で災害が起らなかったのは単なる偶然と考えなければならぬように思います。

災害が発生したら、どのように行動して自分や家族の生命・財産を守るのか。地震や台風、大雨、洪水、土砂崩れなどの災害の種類、またその複数の災害の組み合わせなど、最も安全・有効と思われる手段や方法を素早く見つけなければなりません。まずは現場での自助努力が必要ですが、とっさのときに個人でどこまでできるのか、難しいのが現実です。

昨年の台風災害の時のニュースでも取り上げられました。近所の声掛けが避難のきっかけになり、結果として命が助かった方があります。普段から声を掛け合える。近所との関係があったことが、いざという時に命を救った例と言えます。

今、社協や町内会、自治会、民生委員、包括支援センターなどの地域の団体が連携して、自宅での日常の暮らしに心配がある高齢者の方々に近所で見守り、困ったときに支えあう「地域支えあいネット」の取り組みが始まっています(2ページ参照)。緑井地区には六五歳以上の高齢者が約2100人おられますが、これまでにこの制度に登録されたのは全体の1%にも達しません。緑井地区には実際に見守りが必要としない方が多いのであれば大変喜ばしいことですが、「迷惑をかけたくない」などの理由で遠慮している人もあるようです。広域化、大規模化する近年の災

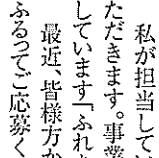
害では、行政からの支援が来るのをただ待っているのは、残念ながら非現実的と言わざるを得ません。自分自身が行う「自助」に加えて、近所や町内のコミュニティでの「互助・共助」の支えがあれば、いざという時だけでなく日々の緑井での暮らしがより豊かで安心感のあるものになります。「人生百年時代」を豊かに生きるためにも、緑井学区の顔の見える人の絆をもっと深めていきたいものです。社協では、微力ながら今年もいろいろな活動を通してその絆づくりのお手伝いをしたいと思います。皆さまのご協力のほど、よろしくお願いたします。

副会長年頭所感



吉田一憲 「組織運営部」担当

令和となり初めてのお正月を迎えました。副会長で組織運営部長を仰せ付かっております八敷福祉会長の吉田です。



引地正明 「広報コミュニティ推進部」担当

並々と歴史を重ねてきました中組町内会、その重みを感じながら多様化した地域の安全・安心をキーワードに、「中組たより」を発行するなど連帯感のあるまちづくりに向けて微力ながら努めています。



松浦馨 「高齢福祉部」担当

行事を進めていくことは、すなわち「人」と考えています。今までもずっと協力をいただいている方にも、今後ともガ

ンバつてもらいつつ、また、新しい方にも加わってもらい町内会活動を活性化し、継続発展させていけばと考えています。「高齢福祉部」としては、毎年十一月三日(祝)文化の日に行われる町民親善グラウンドゴルフ大会を今以上に深められるよう考えています。



竹本純也 「児童福祉部」担当

岩谷地区居住の皆さまにおかれましては、隣保相互の「親睦」と「融和」を図り、「福祉」の推進にいつもご協力有難うございます。専門事業では、幼稚園・緑井小学校「地域(交流)学習」の学習支援に協力をいただきますよう、よろしくお願申し上げます。



阿佐巖 「障害福祉部」担当

今年度は東京でパラリンピックの開催も予定され、障がい者への理解や関心が、より一層高まる事を期待しております。

民生委員・児童委員協議会会長を務める立場からも、障がい者を含め、高齢者、児童など地域にお住いの全ての方の福祉が増進するよう、活動を邁進してまいりますので、「指導」観望のほどお願申し上げます。



今村隆太郎 「地域福祉推進委員」

地域福祉推進委員と合わせて、ボランティアバンクも担当させていただきます。昨年、ボランティアバンクで地域猫への取り組みを開始いたしました。各町単位での取組となりますが、動物愛護、公衆衛生等の側面からも進展させていきたいと思っております。

他方では、地域福祉活動の円滑な推進を図ることも役目を担っておりますので、各町内(自治会、学区、行政)との窓口や繋がりをしっかりとついでいきたいと思っております。皆様のご協力とご支援をお願いいたします。



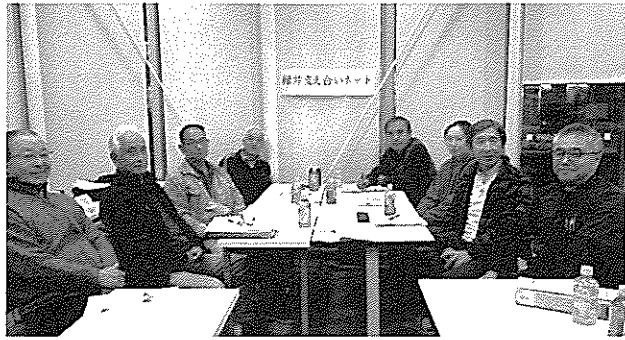
「高齢者何でも相談」で登録で安心を

— 住み慣れた地域で暮らす支えに —

誰しもが、住み慣れた地域で安心して暮らしていききたいと思うものです。しかし、高齢者だけの世帯や独り暮らしの方が年々増えており、自分の力だけで生きていくことが難しい時代になっていきます。そうした不安にこたえるため、身近な地域で高齢者を見守り、支えあう仕組み「高齢者支えあいネット」が用意されています。

見守りの対象になるのは、一人暮らしか夫婦二人暮らしの方で次のいずれかに当てはまる方です。①要支援・要介護認定を受けている方②持病があるなど虚弱な方③80歳以上の方など。これらに当てはまる方が「見守り支援」を希望された場合、ご近所の見守り協力員さんが、普段の暮らしの様子を気に掛けながら町内会や自治会にも報告して地域で見守り、必要があれば関係機関と協力し支援していきます。現在、緑井小学校区では13人の登録者を12人の協力員が見守っています。制度がまだ十分に知られていないためか、他地区に比べると登録者が少ないようです。既に見守りをしてもらっている中の一人は「近所の親しい人が見守り協力員なので安心していられる」と話しています。

「見守りを希望したい」などのご相談は、地元町内会・自治会や地域包括支援センター（☎831-1157）でお受けします。まずは遠慮なくご相談ください。



支えあいネットの運営委員会の様子

11月3日「ふれあい広場」を開催

11月3日（日・祝）午前、緑井小学校で、恒例の「ふれあい広場」を開催しました。校庭のグラウンド・ゴルフには76人が参加したほか、体育館では囲碁大会、写真展、巡回行政相談、喫茶コーナー、椎茸販売、地域包括支援センターによる「高齢者何でも相談」などを行い、地域のふれあいを深めました。成績は次のとおりです。

グラウンド・ゴルフ成績（3R）

<男子の部>

| | | |
|----|-------|----------|
| 優勝 | 宮本 政宏 | 点数 (52点) |
| 2位 | 山崎 謙讓 | (56点) |
| 3位 | 兒玉 幹男 | (57点) |

<女子の部>

| | |
|-------|----------|
| 大野 元栄 | 点数 (54点) |
| 加藤 敏枝 | (54点) |
| 湯島 初音 | (57点) |

* 同点の場合は1打数で決定



囲碁成績

| | |
|---------|-------|
| Aグループ優勝 | 前田 易男 |
| Bグループ優勝 | 石田 満明 |
| Cグループ優勝 | 積山みるい |



囲碁大会グループ別の対戦



昨年度優勝者による選手宣誓



開会式



表彰式



閉会式

地域猫対策に取り組み

社協ボランティアバンクで研修会を実施

ここ数年、緑井はじめ市内に野良猫が増え、その害による問題・トラブルが起きており、広島市でも対策に乗り出しています。野良猫が増えるような問題が起こるのか？敷地内に糞尿をし、悪臭がする。発情やケンカの鳴き声がうるさい。野良猫がゴミをあさり、散らかす！

しかし、猫は「動物の愛護及び管理に関する法律」で愛護動物とされ、殺処分を目的に捕獲することはできません。

猫はもともと野生ではなく、愛玩動物として人間が飼育してきました。飼い主がいない野良猫という生き方は、猫にとっても自然な生き方とはいえません。そこで、このような野外で暮らす野良猫を減らそうと全国で取り組みが行われているのが「保護猫活動」であり、「地域猫活動」です。

「地域猫活動」とは

特定の飼い主がいない野良猫を地域の理解と協力を得て捕獲し、その後、去勢・不妊手術をして地域猫として野外でお世話をすることで、二代限りの生を全うさせようとする活動を地域猫活動と言います。野良猫を適切に管理することで、これ以上増やさず、猫と地域が共生できるようにする活動ともいえます。緑井社協では、この地域猫活動についてボランティアバンクで取り組むことを想定し、9月19日、動物管理センターから専門家を招いて研修会を開催しました。

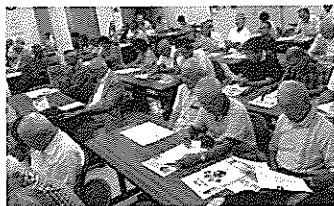
猫との共生を目指す

野良猫は、個人での餌やりを止め、決められた人が毎日同じ場所ですべての餌付けをすれば、必ずその時間、その場所に現れるようになるといわれます。地区で地域猫活動を行うことが決まれば、町内会長・自治会長の名前で指定の書類

を市動物管理センターに提出し、捕獲日を決定します。野良猫の捕獲に必要な器具は、市の動物管理センターから預かった捕獲かごを用います。捕獲された猫は地域の手で動物管理センターに運び、そこで必要な処置を専門家の手で行い、再び地域に連れ帰ります。

このように地域と猫をつなぐ活動でもありますが、「こんなことを誰がするのか」「自分はしたくない」と思う方も少なくありません。一方で、「動物のためなら」とか「これ以上、野良猫が増えなくなるのなら」「住みよい地域になるのなら」などと、協力したいという方もあります。社協ボランティアバンクでは、このような方を地域で募り、集まった方を中心に地域猫活動を始めていきます。

猫という動物を作り出したのも人から、放し飼いにし、増やしたのも人。猫との共生を目指して、社協としても地域猫活動に取り組みしていきたいと考えていますので、皆様のご理解ご協力をお願いします。



ボランティアバンクの研修風景

民生委員・児童委員が改選

関わり方も担当者も少しずつ変化

「民生委員は高齢者だけで、町内会に入っていない人は対象としない」と聞くことがありますが、赤ちゃんから大人、そして人生の最終段階の人生会議まで、地域に住まわれる全ての方々を見守り、支援する役割となっています。民生委員制度も100年が経過しました。時代と社会環境に合わせて、関わり方や役割が変化してきております。個人情報への配慮、介護保険制度、葬儀の形態まで社会は個別化している時代ですから、民生委員が全ての方を見守りつつ、気遣いを行き届かせることは、現実的とは言えないのが実態です。

生活を行う上で、困っている事や不安な事があれば、まずは担当地区の民生委員に相談してみてください。民協・社協・学校・地域包括・行政などが一体となつて、地域福祉が成り立っています。継続・新任の民生委員を含めご自分の担当民生委員・児童委員をご確認ください。



民生委員・児童委員の皆さん

佐東南地区民生委員・児童委員協議会(緑井地区)

| 委員名 | 担当 | 自宅住所 | 電話番号 | FAX番号 | 担当区 |
|-------|------|---------------|----------|----------|--|
| 的場 敦子 | 大下 | 緑井一丁目18-23 | 877-0289 | 877-0289 | 緑井一丁目1~2.9~11.17(19~32).18~25.27~32 |
| 澤井 一治 | 日吉 | 緑井二丁目25-5 | 877-1548 | 877-1548 | 緑井一丁目3~6.12~16.17(4~17,33~45).26 |
| 桑本ヒデミ | 日吉 | 緑井二丁目3-35 | 877-6692 | 877-6692 | 緑井二丁目5~8.13~17.22.25~27 |
| 大利 君子 | 日吉 | 緑井二丁目22-3 | 877-1533 | 877-1533 | 緑井二丁目1~4.18~20.21.23~24.四丁目11(12~25) |
| 阿佐 巖 | 岩谷 | 緑井三丁目12-5 | 877-0035 | 877-6323 | 緑井二丁目9~12.28~30.三丁目1~3.11~12 |
| 井口 裕子 | 岩谷 | 緑井三丁目37-35 | 877-7004 | 877-7004 | 緑井三丁目4~10.13~16.26~46・毘沙門台一丁目1(1~23) |
| 下岡 明夫 | 岩谷 | 緑井三丁目17-2 | 877-9589 | 877-9589 | 緑井三丁目17~25 |
| 森山 啓子 | 中組 | 緑井四丁目19-8 | 877-3772 | 877-3772 | 緑井四丁目2~8.14~19.34 七丁目14(17~29)15(20~34) |
| 菅野 郁子 | 中組 | 緑井四丁目32-20 | 879-0808 | 870-1704 | 緑井四丁目20~21.22(1~3)(24~45).30~33 |
| 浅黄 末子 | 中組 | 緑井四丁目24-21-10 | 879-2890 | 879-2890 | 緑井四丁目9~10.11(1~11).12~13.22(4~14).23~29 |
| 田中 和子 | 中組 | 緑井五丁目16-13 | 877-2022 | 877-2022 | 緑井四丁目1.五丁目1~3.4(33-9除く).5(佐東北民協).6~29 |
| 正木 文治 | 八敷 | 緑井七丁目15-13 | 877-2324 | 877-2374 | 緑井七丁目14(4~16,30-1~35).15(1~19,40-6~51).28~31 |
| 日羅 令子 | 主任児童 | 緑井七丁目28-3-3 | 876-1041 | 876-1041 | 緑井小学校地区全域 |

緑井学区自主防災会連合会

大家小の
安佐南区防災訓練を見学
避難所運営のノウハウを学ぶ

十一月十七日(日)午前、今年度の安佐南区防災訓練が行われ、緑井学区自主防災会連合会からも六名が視察参加しました。この訓練は年一回、区内の小学校区を巡回して実施されており、今年度は沼田地区の大塚小学校が会場となりました。この地域は、アジア大会前後から開発された大規模な住宅団地と従来からの農業地域が混在し人口が急増した地域です。訓練は、隣接する大塚小・伴南小両学区の自主防災会や地区の防災士連絡会などの主催で行われました。

住民二〇〇人が参加

訓練は、「南海トラフ巨大地震が発生し、震度6の揺れで生活インフラに甚大な被害が出た」との想定で開始。8時から、避難所となった小学校体育館まで、各地区から住民約二〇〇人が声を掛け合いながら集団で避難。体育館に集合した後、実際に避難所で起こりうる様々な問題を想定しながら、住民自身でそれらのテーマをどう解決するか十名ずつ一六のグループに分かれて、ワークショップ形式で参加者自らが避難所を運営する体験をしていきました。進行は防災士の方たちが担当。避難者役となった参加者には、限られた体育館のスペースで避難者1家族にどれだけのスペースが配分できるか、避難所運営上どんな自主ルールが必要か、プライバシー確保にあたって注意すべき

ことは何か、ペット連れの避難者をどうするかーなど、答えが簡単には見つからない問題が次々に生まれ、テーブルごとに答えを出していきます。議論の様子を見学した緑井地区の防災士・船越毅さん(大下町内会)は「災害の内容、時期、規模、他からの応援の状況などによって、避難所運営の自身は日々様々に変化するだけに、避難所内の情報を共有し、大方の納得を得られるよう柔軟に対応することが必要であることを実感しました」と話していました。

会場の大塚地区は傾斜地に位置していることから、住民の防災意識が高く、この地区だけですでに五四名が防災士の資格を取得。それに続けと二〇名以上の方が現在、資格取得を準備しているそうです。(緑井地区の防災士資格取得者は現在六名)

二年後は緑井小で

区の防災訓練は、現時点では2年後の令和3年度には緑井学区が担当会場になる見通しです。具体的な訓練内容は今後検討することになります。「こういう訓練をしてはどうか」などのご意見、ご要望がありましたら、各町内会・自治会役員までお知らせください。



(避難所運営について議論する大家・伴南学区の皆さん)

公園などに

災害時の避難マップを設置
「交通安全施設組合」が寄贈

交通安全施設工事の専門業者で組織された団体である広島安全施設業協同組合(理事長・宮川裕正氏)が、6月末に緑井小学校区内の災害時の避難場所などを記載したマップを寄贈されました。日ごろ、道路の標識や区画線の設置工事などに専門に携わっておられる企業の方々が、5年前の緑井地区での土砂災害等を踏まえ、地区の防災に役立ててと小学校や地区内の公園など5か所に設置されたものです。

マップは耐久性の高いアルミ製で、緑井地区の土砂災害危険箇所や洪水時の想定浸水区域、指定避難場所、災害から命を守るためのルール、防災情報サイトの紹介などの情報がカラーで分かりやすく載っています。ポードの制作から設置工事まで、組合の皆さんのノウハウを活用し、すべてボランティアで行われました。寄贈をとりまとめた代表の宮川さんは「日頃からお世話になっている地域の皆さんへの恩返しとして、自分たちの日ごろの技術が生かせることを組合としてさせていたが、地域で防災意識の高揚に役立てていただければうれしい」と話しておられます。



(緑井小学校正門付近に設置されたマップ)

瑞宝章受章
岩谷自治会の増原武則氏
(元広島市安佐南消防団分団長)が受賞されました。

おめでとございます



受賞

おめでとうございます。

広島市社会福祉協議会 会長表彰

- 佐々木基雄(大下町内会)
- 頼岡 弘行(中組町内会)
- 西村 一伸(中組町内会)
- 笹岡 繁(中組町内会)

安佐南区社会福祉協議会 会長表彰

- 久保 基(日吉町内会)
- 吉岡 一司(岩谷自治会)
- 五島 周作(大下町内会)